

第4回女子ユース大会

ホームゲームで準優勝

～韓国に敗れて惜しくも2位～

9月23日から日本、山鹿市総合体育館にて開催された第4回女子ユース大会は世界選手権の切符を懸けての大会となりました。初日から熱い戦いが繰り広げられ、ホームゲームということで日本選手も少し硬さが見られましたが、序々に調子上げていき最終日の28日には全勝対決となる優勝を懸けた韓国との戦いとなりました。序盤は日本がリードする形でしたが、後半に入り韓国の攻撃的なディフェンスに日本が攻めきれずに連続得点を許してしまい、最後日本の粘りも見せましたが韓国に敗退。韓国は4戦連勝で優勝しました。この結果から韓国・日本・カザフスタン上位3チームが2012年7月モンテネグロにて開催されます第4回ユース世界選手権の切符を手に入れました。応援に来てくださった方々本当にありがとうございました。

【試合結果】

日本 41(21- 2.20- 8)10 カタール
 日本 40(19-18.21-10)28 カザフスタン
 日本 36(22- 9.14- 7)16 イラン
 日本 20(12- 9. 8-18)27 韓国

【順位】

1位 韓国 4位 イラン
 2位 日本 5位 カタール
 3位 カザフスタン



優勝して胴上げをする韓国 交流を深めた選手達 ディフェンスする日本 声かける日本と韓国

第11回女子ジュニアアジア選手権

2012.世界選手権の切符獲得

9月14日～20日まで第11回女子ジュニアアジア選手権及び2012年世界選手権予選がカザフスタン・アルマトイで開催されました。この大会にはオムロンから小舘美紀選手が選ばれ、出場しました。日本は予選リーグで負けなしの1位通過と大会を好調でスタートしました。決勝トーナメントに入り、準決勝・3位決定戦と2敗したものの、結果大会4位となり、2012年7月にチェコで開催されます第18回女子ジュニア世界選手権の出場権を獲得しました。小舘選手は全試合に出場し、大会通して14得点し大活躍しました。

【試合結果】

(予選リーグ)
 日本 27(11-10.16-12)22 C・タイペイ
 日本 56(31-11.25- 9)20 ウズベキスタン
 日本 30(16-15.14-14)29 カザフスタン

(決勝トーナメント)

【準決勝】
 日本 19(9-13.10-14)27 中国
 【3位決定戦】
 日本 31(13-22.18-17)39 カザフスタン



UNITE No.43 Yamaga

広報名:UNITE【ユナイト】 結束・一体になる
 スポーツを通じてより一層結束を深めようという願いを込めて名付けました

編集・発行
 オムロンハンドボール部
 発行責任者
 西窪 勝広
 ■お問い合わせ
 0968-44-4101



～二つの戦いが閉じる～

日本代表



熊本県代表(オムロン)



Asian Women's Qualification for Olympic Games.London2012(Changzhou,China2011)

ハンド五輪女子アジア予選 『ロンドンへの切符、来年に持ち越し!!』 ～韓国に敗れ、2位～

1つ目の切符獲得への道、ハンド五輪女子アジア予選が21日に幕を閉じました。沢山の応援を背に10月12日～21日の大会に向け中国へと乗り込んだ日本代表。全日本女子の監督がオムロンのHC黄さんになり、3年。このアジア予選まで徹底的に取り組んだフィジカルトレーニングを積み試合に挑みました。当初、参加国は9カ国でしたが、3カ国が出場辞退し不参加となった為、6チームで総当たりとなった本大会。初戦にカザフスタン、2戦目に中国とスタートから強豪国との対戦になりましたが、カザフスタンに12点差をつけ圧勝すると、その勢いで昨年度アジア大会・アジア選手権ともに敗れた中国にも勝利しました。オリンピック出場だけを考慮して臨んだ日本は最終戦の相手、最大のライバル韓国戦まで危なげなく勝ち進み、オリンピックの切符を懸けた全勝同士の一騎打ちとなりました。



左:中国選手を守る永田選手



真ん中:シュートブロックする東濱選手



右:中国に勝ち喜ぶ選手達

最終戦の21日、36年ぶりの五輪切符への戦いは前半攻守に亘る気迫あるプレーやGKの好セーブでリードし折り返したものの、後半攻撃が単調になり、相手に速攻で押され逆転を許してしまいました。最後まで諦めず戦った日本でしたが、後半中盤から許した点に追いつかず結果22-27で負けてしまいました。今大会で五輪切符は獲得出来ませんでしたが、この試合を見て誰もがハンドボールのファンになったのは間違いないはずです。沢山の応援を背に戦った日本代表はまだ切符への望みがある世界最終予選に今回の負けを繋げて必ずロンドンへの切符を勝ち取ると燃えています。オムロンから日本代表に選ばれた6名は今大会終始コートに立ち、攻守に亘り戦いました。日本代表で培ったものをオムロンの試合で生かせることを確信しております。そして、この最終戦はオムロン(東京・京都・熊本)でパブリックビューイングを開催し、大型スクリーンで盛大に応援しました。会社で応援して下さいの皆様、また日本全国応援して下さいの皆様方、本当にありがとうございました。

【試合結果】

- 日本38(18-14.20-12)26カザフスタン
- 日本26(11-12.15- 9)21中国
- 日本30(14-11.16-12)23北朝鮮
- 日本44(24- 2.20-10)12トルクメニスタン
- 日本22(11-10.11-17)27韓国

【順位】

- 1位 韓国(オリンピック出場権獲得)
- 2位 日本(世界最終予選出場権獲得)
- 3位 中国
- 4位 北朝鮮
- 5位 カザフスタン
- 6位 トルクメニスタン



現地会場上海での応援団



東京での応援の様子



京都での応援の様子



熊本での応援の様子

第66回山口国体

「石川県に敗れ、3連覇逃す」

～2位の悔しさを次への糧に～

オリンピックアジア予選の為、全日本メンバースタッフ西窪GM代行・黄HC、選手6名不在で迎えた第66回山口国体。

1試合目は初戦ということもあり、緊張からか上手く自分達のプレーが出せませんでしたが、試合を重ねるごとに練習した事を発揮出来るようになり、準決勝までの3試合は大差をつけて勝つことが出来ました。特に準決勝の相手、地元山口県との戦いはオムロンのホームゲームのような大応援での試合でした。

しかし、決勝戦では今大会初めて実業団チームとの対戦で、終始試合の主導権を相手に握られる展開となり、自分達の力不足を痛感させられた戦いでした。

チームの底上げの為に、残りのメンバー15名で結果を出そうと意気込んで臨んだだけに、決勝戦での大敗はとても悔しく、又更なる努力が必要だと強く感じた大会となりました。山口県まで沢山の皆さんが応援に来て下さいました。私達は本当に皆様の方で支えられていると改めて感じました。この負けと沢山の皆さんの応援を糧に次へと進んでいきたいと思えます。本当に沢山の応援、ありがとうございました。



左:ベンチで見守る高橋GMと岡崎監督



真ん中:シュートブロックする選手



右:シュートを放つ前田選手

【試合結果】

- 熊本県34(17- 8.17- 8)16富山県
- 熊本県31(13- 9.18-12)21茨城県
- 熊本県32(16-10.16-10)20山口県
- 熊本県22(9-19.13-15)34石川県

【順位】

- 1位 石川県
- 2位 熊本県
- 3位 広島県
- 4位 山口県
- 5位 茨城県
- 大阪府
- 神奈川県
- 香川県

前期、1位通過!!

第36回日本リーグ開幕

「去年の雪辱誓う!!」

10月29日(土)地元熊本、県立総合体育館にて第36回日本リーグが開幕しました。地元開催、沢山の応援の中でのソニー戦は初戦ということもあり、少しミスもありましたが守って速攻のリズムで加点していき、大差で勝利することが出来ました。広島メイプルレッズ・HC名古屋戦も順当に勝ち進み、全勝同士の北国銀行戦はお互い固いDFで得点を譲らず、引き分けて試合を終えました。年内、リーグ最終戦の三重バイオレットアイリス戦は相手の攻撃を封じ、強い守りからの速攻・リーグ戦からオムロンに加入しましたNO.22金選手5得点という大活躍で最終戦をいい形で終えました。この結果からオムロンは北国銀行と4勝1引き分けと同率ですが、得失点差でオムロンが上回り、前期戦日本リーグは1位で終わることが出来ました。

沢山の皆さんの応援でコート思い切ってプレーすることが出来ました。本当に沢山の声援ありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

大型新人選手加入

シュートを放つNO.8石立真悠子選手→



キム・チャヨン選手

今季、日本リーグからの加入になりました新たな新戦力の韓国出身、金 且妍(キム・チャヨン)選手です。もうすでに開幕戦、初デビューそして初得点もしており、今後の活躍に期待大の選手です。それでは、金 且妍選手の自己紹介をしたいと思います。



NO.22
金 且妍選手

↓初デビューを果たした
金選手



NO.22 金 且妍(キム・チャヨン/Kim Chayoun)
1981年2月10日生まれ 174cm 右利き 0型
釜山市出身 ポストプレーヤー 趣味:映画鑑賞

球歴:テグ広域市庁ハンドボールクラブ→ヒポバンクハンドボールクラブ(オーストリア)→テグ広域市庁ハンドボールクラブ→韓国ハンドボール協会→オムロン
韓国代表として、2004年アテネ五輪銀メダル、2008年北京五輪銅メダル、10月21日までありましたロンドン五輪アジア予選でも五輪切符獲得に貢献しました。

☆人の言動を見ていて、一人一人に的確なアドバイスをし、チームに落ち着きを与えてくれるとても気さくで優しいオンニー(お姉さん)です。ポジションはポストでオフ・ザ・ボールの時の巧みな動きと、人を生かすブロックプレー、DFでの駆け引きに注目して下さい。

☆金 且妍選手から一言☆

長い間ハンドボールをしてきましたが、まだまだ学ぶ事が多く、日本にきました。オムロンの選手と一緒にコートに立つことが出来るようになり、嬉しいです。これから活躍する姿を皆さんにお見せ出来るように努力します。応援よろしくお願いします。